

ひとつのりんご

鹿児島県鹿児島市立原良小学校 三年

増田^{ますだ}

智優^{ちひろ}

お母さんは言う

あなた達が一番のたからもの

お母さんは言う

妹も私も同じ、とくべつ大切なたからもの

でも時々

妹ばかりって思う

時々

私の方がとくべつなのかなって感じる

「私と妹、どっちが一番？」

むねがチクツとした

お母さん

困った質問でごめんなさい

「それはね。」

お母さんは言った

「りんごを半分に切って、

どっちがおいしいですか？」って

聞いているのとおんなじ。」

そう言って笑った

手にはりんごを持っていた

あの日から思う

お母さん

私も、お母さんが一番のたからもの

妹もお父さんも、私の大切なたからもの

だからお母さん、

私もお母さんも、妹もお父さんも

みんなおんなじ、

ひとつのまあるいりんご

私たちは、

愛にあふれた
ひとつのりんご
です。

お母さん、だいすき